

パブリック・ディベートテーマ

ー山口県は県民の行動を変えるために何をすべきかー

げんざい ちきゅうおんだんか きこうへんどう もんだい ちきゅうおんだんか
現在、地球温暖化による気候変動が大きな問題となっています。地球温暖化の
げんいん おんしつこうか にきんかたんそ
原因として考えられているのが温室効果ガスです。その中でも、二酸化炭素の
えいきょう もっと にさんかたんそ ねんりょう も
影響が最も大きくなっています。二酸化炭素は、ガソリンなど燃料を燃やす
じどうしゃ うんてん せきたん ねんりょう も でんき
自動車を運転したり、石炭などの燃料を燃やして電気を作り出したりするとき
はっせい りょう ひつよう
に発生します。そのため、その量を減らしていくことが必要です。

ちようさ きこうへんどうもんだい かんしん も
しかし、国の調査によると、多くの人は気候変動問題に関心を持っていますが、
ちきゅうおんだんかたいさく せっきよくてき じょうきよう
地球温暖化対策に積極的に取り組みたい人は少ない状況です。。

あいことば だつたんそしゃかい
このような中、山口県では「ぶちエコやまぐち」を合言葉に、脱炭素社会の実
ちきゅうおんだんかたいさく みずか
現に向けて、県民一人ひとりが地球温暖化対策に自ら取り組むこと（ゼロカー
ボン・チャレンジ）を進めています。県民一人ひとりの行動を変えるためには、
きょうか もと
これまで以上に取組を強化することが求められています。

そのため、「山口県は県民の行動を変えるために何をすべきか」について考えることは重要です。

い か
これらをふまえて、以下のような問いに答えてみましょう。

パブリック・ディベートの問い

だつたんそしゃかい じつげん
脱炭素社会の実現に向け、

「山口県は県民の行動を変えるために何をすべきでしょうか。」

めいかく ていあん
理由を明確にして、ユニークなアイデアを提案してみましょう。